城北まちづくり通信

2022/9/22
４２号
城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

「健康意識」を高める取り組み・・・！！

公民館で集団検診(9月15日)を実施しました。福祉･健康部、健康づくり推進員の皆様には企画段階から、大変お世話になり感謝申し上げます。

当日は、コロナ禍の最中であり、細心の注意を払っての実施となりました。　ロビーフロアーで検温と受付をした後、仕切りを取り去った５室（和室・会議室①~④）で、３密を避けての実施でした。

健康なからだであり続けるには、「健康意識」を高め、まず自分の生活習慣を見直すことからはじまります。重症化する前の少しでも早い段階で健診(検診)と、予防に心がけることが重要となります。

城北地区住民の、「健康意識」を高める取り組みを、今後も“まちづくり協議会”の継続事業として実施したいと考えています。

鳥取市より財政的支援【☆集団検診(70,000円)☆健康啓発ﾁﾗｼの作成(60,000円)】を受け、平成２６年度から事業展開してきています。その後、城北地区の健診受診率は、徐々に上がり現在に至っています。　(福祉・健康部会：植村 部会長)

地域組織が一体となった取り組みを進めます！

下記の地域組織の代表が出席して、『第１回 城北地区「支え愛」連携協議会』(9月5日)を開催しました。

ちょっとした手助けや声かけ(気配り)で、困っている隣人を支え合える「まちづくり」を目指して、連携して取り組むことを目的にしています。

- 自治連合会・公民館・防災対策協議会
- まちづくり協議会・社会福祉協議会
- 民生児童委員協議会・老人クラブ連合会
- 婦人の会・人権教育推進協議会
- となり組福祉員連絡協議会
- 愛の訪問協力員連絡会

まずは、困ったとき、当事者が孤立することなく、“困りごとを相談する場所”や、地域に「話し愛・支え愛」の輪（仕組み）があることを、情報提供できるような冊子（保存版）を作成することにしています。

作成に関しては、鳥取市をはじめ鳥取市社会福祉協議会の協力を得て、各行政機関の専門的立場からの知見を集約したものにしたいと考えています。

電話帳の横に置いていただけれるような冊子づくりを目指しています。

Ⅰ．趣旨

困ったとき、当事者が孤立することなく、“困りごとを相談する場所”、地域に「話し愛・支え愛」の輪（仕組み）があることを、「見える化」して、情報提供できる冊子（保存版）を作成する。

◎（仮称）『城北地区支え愛ネットワーク』（保存版）

具体的構想：メモ

①各種団体(自治連などの地縁団体や地社協などのテーマ団体)の活動の強みが読み取れ、「支え愛」の輪（仕組み）があることが分かるもの。　＊見守り・生活支援活動

②諦めていた困りごとを、解決できる行政サービスがあることを情報提供できるもの。

③困りごとを、どの段階で“いつ”・”誰に”・“どこに”相談すればいいのか具体的に分かるもの。

④社会とのつながり(関わり)が出来る場の紹介と、参加方法が分かるもの。

・顔の見える人間関係を育む場
・世代間交流　・お買い物　・おしゃべり　・健康づくり
・楽しいイベント　等

目的

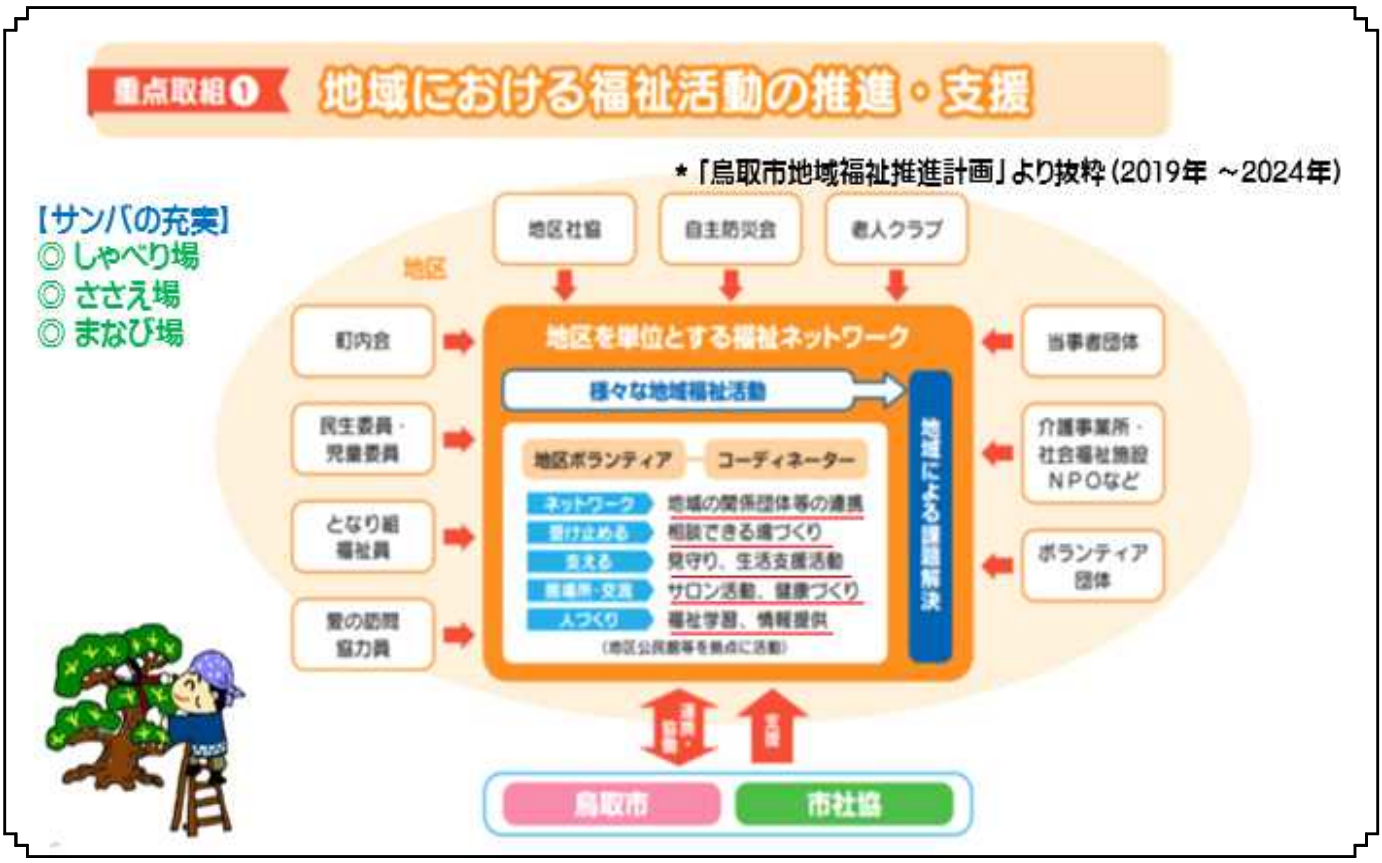
お互い様の精神で、隣人の困り事に気づいたら、ちょっとした手助けや声かけ（気配り）で、困っている隣人を支え合える「まちづくり」を目指します。

元気で楽しく心地よく　住んで良かった実感できる城北へ！！

裏面につづく

【イメージ図①：困り事】

【イメージ図②：「支え愛」のネットワーク】



．趣旨

困ったとき、当事者が孤立することなく、“困りごとを相談する場所”、地域に「話し愛・支え愛」の輪（仕組み）があることを、「見える化」して、情報提供できる冊子（保存版）を作成する。

◎（仮称）**『城北地区支え愛ネットワーク』（保存版）**

具体的構想：メモ

①各種団体（自治連などの地縁団体や地社協などのテーマ団体）の活動の強みが読み取れ、「支え愛」の輪（仕組み）があることが分かるもの。　＊見守り・生活支援活動

②諦めていた困りごとを、解決できる行政サービスがあることを情報提供できるもの。

③困りごとを、どの段階で“いつ”・”誰に”・“どこに”相談すればいいのか具体的に分かるもの。

④社会とのつながり（関わり）が出来る場の紹介と、参加方法が分かるもの。

・顔の見える人間関係を育む場

・世代間交流　・お買い物　・おしゃべり　・健康づくり

・楽しいイベント　等

目的

お互い様の精神で、隣人の困り事に気づいたら、ちょっとした手助けや声かけ（気配り）で、困っている隣人を支え合える「まちづくり」を目指します。

元気で楽しく心地よく　住んで良かった実感できる城北へ！！